

市長のタウンミーティング 片貝地区

(敬称略)



開催日時 令和元年11月13日(水) 19:00～21:00
 会場 片貝公民館
 参加人数 25名

開会挨拶 片貝地域振興会長 伊藤 甚幸
 書記 伊藤 甚吾

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	片貝	公共施設	総合体育館は老朽化しており、未耐震だと聞いている。温水プールが民間に移行するとの説明だったが、耐震補強しなくて大丈夫なのか？
2	片貝	財政健全化	魚津市は物件費、繰出金の支出が類似団体よりも多いとのこと、繰出金は国が市で負担せよというものが増えているの
3	片貝	教育環境	小学校統廃合について経田地区が反対していると聞く。市としては計画どおり統廃合を進めるのか？それとも延期するのか？
4	片貝	財政健全化	遊休地売却など収入を得る工夫をしてほしい。また、企業が多ければ税金も多く入ってくるので企業誘致もしてほしい。
5	片貝	財政健全化	天神山球場の使用料が上がるとの説明があったが、現在の使用料はいくらなのか？
6	片貝	防災	飯山市にボランティアに行った職員は何人か？また、災害ゴミの受入は焼却施設の能力的に可能なのか？
7	片貝	鳥獣被害対策	イノシシ、サルの被害が多く野菜も作ることができない。駆除してほしい。
8	片貝	地域振興	自治会を統合することはできないのか？
9	片貝	観光振興	片貝ルートの市民バスの乗客が1日1、2人の日もあるので、有効に活用する方法が考えてほしい。先日地域振興会で行った洞杉めぐりは市外、県外の人も来て満員となった。毎日ではなくても市民バスを洞杉までのアクセスや外国人観光・体験ツアーなどに活用できないか？
10	片貝	観光振興	洞杉を見たいという人はたくさんいるが、洞杉までは1時間も歩かなければならないのはきついという意見がある。もう少し奥まで行けるようにはならないか？

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	片貝地区	日時	11月13日(水) 19時00分より 21時00分まで		参加者数	25名
会場名	片貝公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	農林水産課 伊藤 甚吾	
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの主な参加者	地域振興会長、各種団体関係者ほか			

1. あいさつ

片貝地域振興会 会長 伊藤 甚宰

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○総合体育館・温水プールの耐震化について

総合体育館は老朽化しており、未耐震だと聞いている。温水プールが民間に移行するとの説明だったが、耐震補強しなくて大丈夫なのか？

（村椿市長）

総合体育館は平成 26 年に策定した公共施設再編方針で平成 30 年に廃止予定でした。廃止時期は遅れていますが廃止の方針は変わっていません。温水プールについては整備手法を検討したうえで建替をする計画となっています。

○魚津市の支出について

魚津市は物件費、繰出金の支出が類似団体よりも多いとのことだが、繰出金は国が市で負担せよというものが増えているのか？

（村椿市長）

ルールに沿った繰出金であれば財政措置があるので大丈夫です。ルール以外の財政措置がない繰出をすると苦しいですが、ルール無用で繰出をしていることはありません。魚津市で厳しいのは下水道への繰出金が 10 億を超えていることです。これは過去に整備を進めた分の借金返済にかかるものです。社会保障よりも下水道への繰出金が厳しい状況です。

○小学校の統廃合について

小学校統廃合について経田地区が反対していると聞く。市としては計画どおり統廃合を進めるのか？それとも延期するのか？

（村椿市長）

平成 26 年に策定した学校規模適正化計画では子どもの数が基準以下になる見込みである平成 35 年の統合を予定しています。しかしながら、現在は計画策定時の見込みよりも子どもの減少数が少ないです。そのため、状況によっては統合が遅れるかもしれませんが、統合しないというわけではなく市の考え方は変わっていません。子どもの数が基準以下になれば統合します。

（企画総務部長）

今の児童数では統合先の校舎である道下小学校の教室数が足りないという問題もあり、児童数の推移をみているという状況です。

○遊休地売却について

遊休地売却など収入を得る工夫をしてほしい。また、企業が多ければ税金も多く入ってくるので企業誘致もしてほしい。

（村椿市長）

市民アンケートなどの結果からも企業誘致など産業系への取組の要望が多いです。これはパナソニック以降、大きな企業誘致の案件がなかったことと、市内から企業が転出するといったことが、この 10 年であったためだと思います。

人口減少対策としても、若い人の働く場所は作らないといけないと考えております。そのために、今年度は企業誘致の案件にスピーディーに対応できるように、企業適地調査など

も行っています。

○天神山球場の使用料について

天神山球場の使用料が上がるとの説明があったが、現在の使用料はいくらなのか？

(企画総務部長)

現在は200円です。もともと低い使用料だったので、どのくらいの値上げであれば理解してもらえるかも含めて現在検討しています。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○災害ゴミの受入等について

飯山市にボランティアに行った職員は何人か？また、災害ゴミの受入は焼却施設の能力的に可能なのか？

(村椿市長)

飯山市とは災害協定を結んでいます。10月15日に職員派遣要請があり、10月16日から8日間、1日8名の職員がボランティアに行きました。(うち1日は中止)

飯山市では、700超の浸水被害がありました。街中のゴミは片付きました。飯山市では産廃として災害ゴミを処理するため要請はありません。焼却施設の能力的には可能です。

○イノシシ・サルの被害について

イノシシ、サルの被害が多く野菜も作ることができない。駆除してほしい。

(村椿市長)

猟友会の皆さまが活動しやすいよう支援をしていますが、抜本的な解決は難しいところです。

○自治会の統合について

自治会を統合することはできないのか？

(村椿市長)

今後、人口減少が進むなかで、従来の自治単位での維持は難しくなっていくと思われます。今すぐではありませんが新しいコミュニティの在り方を考えていく必要があります。

○市民バスの活用について

片貝ルートの子市民バスの乗客が1日1、2人の日もあるので、有効に活用する方法が考えてほしい。先日地域振興会で行った洞杉めぐりは市外、県外の人でも来て満員となった。毎日ではなくても市民バスを洞杉までのアクセスや外国人観光・体験ツアーなどに活用できないか？

(村椿市長)

良い案だと思うので、そういった案も含めて有効活用の在り方を検討していきたいです。また、次世代交通サービス「MaaS(マース)」の動きが全国的にも広がっているので、そのような取り組みも考えていきます。

○洞杉へのアクセスについて

洞杉を見たいという人はたくさんいるが、洞杉までは1時間も歩かなければならないのはきついという意見がある。もう少し奥まで行けるようにはならないか？

(村椿市長)

東山円筒分水槽文化財登録になり、それに関する観光エリアの上流は洞杉までを視野に入りたいと考えています。車イスや高齢者など誰でも行くことができるように検討していきます。